

平成27年3月11日(水)、16時30分～20時30分にOCAT地下1階ポルテ広場(大阪市浪速区湊町)において追悼キャンドルを実施しました。

約1400個のキャンドルで「3.11」、「絆」の文字と、2014年度に災害が起きた地域と奈良、和歌山、福島の位置とに印をつけた日本地図を描きました。スタッフとして約50名の学生が集まり、会場設営と来場者への呼びかけを行いました。

キャンドル点灯中には約1000名の来場者があり、キャンドルの点灯を手伝ってもらうことで追悼の思いを多くの方と共有することができました。参加型企画として「今自分にできること」の寄せ書きを行い、来場者に震災への向き合い方を考えてもらうこともできました。また、福島へのボランティアバスの活動を紹介したポスターを掲示することで、学生による復興支援活動の紹介をしました。会場にはプロジェクターを設置し、「私たちからみた福島」と「福島からみた福島」について、Willとして活動するメンバーがそれぞれの立場から撮影した写真をスライドショーにして放映しました。

今年度で4回目の追悼行事となりますが、「震災を風化させないで」という被災者の想いを伝えるために関西でもできることをしよう、という意志のもと、来年度以降も継続して行っています。

